

この度は弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
据付工事を行う前に必ずお読みいただき、十分ご理解のうえ正しく施工を行って
くださるようお願い致します。

据付の前に

- 製品がご注文の品と一致しているかご確認ください。
- 本製品は防振台と高置架台用となります。

用意するもの

- ソケットレンチ(M12用)
- スパナ (M12用)

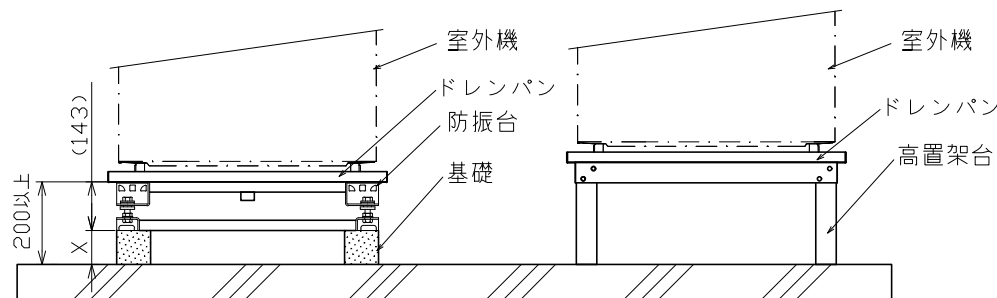
drenpanの設置に際して

1. drenpanを屋内又はdrenpanからの結露水の滴下が問題になる場所に
設置する場合、低温drenpan水によりdrenpanが結露する可能性があるので、
drenpanの底面に断熱材を貼り合わせて結露水の滴下を防いでください。
又、次のような場合にはdrenpan外に水が飛散する可能性があります。
 - ・drenpanに水が溜まり、水はねが起こる場合。
 - ・強風などでdrenpan水が吹き上げられる場合。
2. drenpan設置面の地上高さは作業性を考慮して200mm以上としてください。
防振台のみではdrenpan配管の施工ができなくなる可能性があります。[図1]
3. 周囲温度が0℃以下になる場所では使用しないでください。使用する場合は
drenpanに凍結防止ヒーターなどを取り付けてください。

[図1]

[防振台の場合]

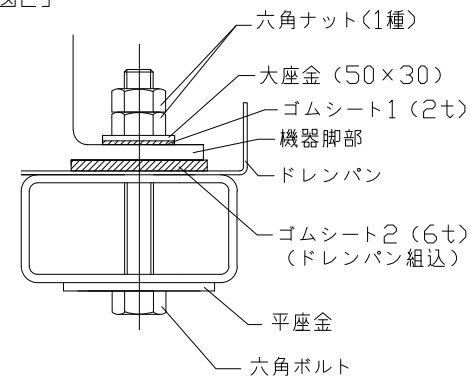
[高置架台の場合]



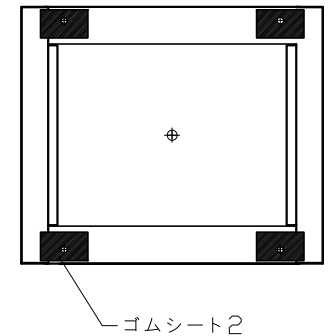
概略作業手順

1. 防振台又は高置架台を付属の取扱説明書に従い、基礎に固定してください。
2. drenpanを架台上へ設置してください。
3. 室外機を設置した後に、防振台または高置架台に付属のボルト・ナット
・ゴムシート1および2、大座金(50×30)、平座金にて強固に固定
してください。[図2]
ゴムシート2は納入時にdrenpan本体に組み込まれております。[図3]

[図2]



[図3]



drenpan配管工事

1. drenpanのdrenpanソケットはPT 1''メネジ (SUS製) となっています。
配管は1''オネジ加工で接続してください。ホース等を使用する場合は、
ホースニップル1''等にて接続してください。いずれもねじ部はシールテ
ープ等で確実にシールを施してください。
2. drenpan配管施工時は、drenpan配管が必ず
1/100以上の下り勾配となるように
施工してください。[図4]

[図4]

